

技術・座学マニュアル

①脱毛周期の年齢との関係性について

年齢はあまり関係ありませんが、箇所によって違いが多少ございます。

※男性のヒゲは2週間です

②子供脱毛の完了時期について

ご案内は大人と同じです

生理がまだのお子様の場合、生理がきたらまた生える可能性があります。

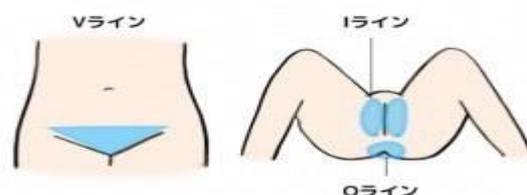
③各 VIO の境目の定義について

【Vライン】股上から骨盤下までになります

【Iライン】正面から見て、股の間の部分になります

【Oライン】お尻の奥になります

また、粘膜はNGとなります



④男児のホルモン影響について

ほぼ考えられません。

⑤照射が出来ない部位について

粘膜部分は照射禁忌になります。 部位としては、頭髪部、眼球の上(眉下)、鼻の穴、唇、耳と耳の中、乳輪、へその穴、VIO 粘膜部分、睾丸・陰茎部分。肌トラブル、感染。脱毛機の認証定義としてNG。

⑥脱毛効果について

①初回から2回目 抜けた実感・効果を感じます(スルッと抜けます)

②3回目から5回目 減っていく実感をして頂けます(まばらになります)

③6回目から8回目 生えてこない感覚になります(生えるペースが遅くなります)

④9回目から12回目 効果に満足できます

⑤12回から15回 まだ気になる方・産毛が気になる方の目安になります

※個人差がございます。上記は目安となります

⑦処方薬や市販薬を飲まれている方への施術について

薬の中に光に対して過敏に反応する成分が入っている事があるので、処方薬の場合 はお客様ご自身で医師にご確認をお願い致します。

⑧硬毛化・多毛化について

硬毛化：脱毛前より毛が太くなる。

多毛化：脱毛前より毛が多くなる。

原因は使用する熱量(レベル)設定による可能性が高いと言われており、毛に対して弱すぎる熱量を与えてしまうことで、脱毛効果は得られないまま 逆に一時的に活性化を行ってしまい毛質、毛量が増えたと考えられています。

光脱毛でもレーザー脱毛でも施術を受けたお客様の数%に起こる可能性があると言われており、

脱毛の原理を考えると太い毛は弱い熱量でも効果を上げられるため、産毛などの細くて色素が薄い毛が生える箇所により起こりやすいと言われています。ただ、医学的根拠はないため未だに正確な理由は解明されていないのが現状です

以下が一般的な対処方法になります。

1. 肌状態を確認しながらやや出力を上げてそのまま脱毛を継続する。
2. 施術を一時中断し刺激を行わないことで元の状態に戻してから再開する等がありますが、硬毛化・多毛化しやすい熱量や波長は人によって異なるため確実な効果は保障しにくく、効果が上がるか様子を見ながら進めていく必要が出てきます。
3. 他の脱毛方式(ニードルなど)に変える。等があります。

⑨施術中、施術後に赤みが出た場合について

施術中に赤みが出た場合は施術を中断し、冷タオル(又は凍らないタイプの保冷剤等)で十分に冷やして下さい。

施術後に赤みが出た場合も十分に冷やして下さい。身体を温める行為を控えて頂き、

赤みが引いた後に保湿を十分に行って下さい。

※赤みが引かない、皮膚に水泡や火傷の様な症状が現れた際には早急に医療機関の受診をお勧めします。

⑩施術後に白いニキビの様なものができたことについて

毛囊炎の可能性があります。施術後お肌のバリア機能の低下とお肌の常在菌によって出来る事があります。

殆どの場合、お肌を清潔に保ち、保湿を行う事で自然に完治していくとされていますが、

痛みや痒みがある場合は医療機関の受診をお勧めします。

⑪光脱毛期間中の WAX 脱毛について

WAX 脱毛はおすすめしません。行わない方が光脱毛に効果的の為。

⑫お化粧品や日焼け止めを塗られている場合について

施術前にメイクオフしていただきます。施術後のお化粧品は問題ありません。

⑬白髪・金髪への効果について

光はメラニンなど黒いものや色素によって吸収される特長があります。

毛の細い太いに関わらず、色素の無い毛に対して効果は見られません。

(色素のあるうぶ毛には効果は見られます。)

⑭整形している箇所の施術(ヒアルロン酸系/ボトックス)について

基本的には避けます。もしお客様ご自身が良いと言う場合は必ず、

『万が一トラブルがあったとしても、責任、返金等負いかねます』という内容を、確認いただいたのち施術を行ってください。

※施術を受けられた医療機関の医師に確認頂く 事でより安全に施術が行えます。

※美容整形等も同様に医師にご確認をお願いします。

⑮妊娠中・授乳中の脱毛について

照射禁忌時期になります。妊娠中や授乳中はホルモンバランスの乱れからお痛みやお肌トラブルに繋がりが易い時期の為、不可となります。卒乳後生理が安定してからの施術 をお願いしております。

妊娠中は基本的にどの施術も不可となります。

⑯生理中の施術について

基本的に VIO とヒップは施術 NG です。他の部位に関しては施術 OK ですが、ホルモンバランスが乱れている為効果が出にくい場合や痛みを感じる場合があります。

⑰タトゥー・入れ墨へは照射について

出来ません。光は色素に反応する為、必ず5cm 程度は離して照射を行って下さい。

⑱日焼け肌への照射について

出来ません。光の特性上、メラニンなどの黒いものや色素に反応する為、お肌の色に反応してしまう可能性があります。日焼け後のお肌は乾燥からの熱刺激に弱く、ト ラブルを起こしやすい為照射出来ません。

⑲予防接種、ワクチン接種後の施術について

接種前後、1週間を目安に照射可能です。安全の為、薬と同様に医師に確認をとって頂く事をお勧め致します。

⑳手術後、通院、治療中の方施術について

お客様ご自身で医療機関へご確認をお願い致します。

㉑スタッフよっての技術で差をださないためには

照射数、施術(照射)時間を目安にさせていただくといいです。

㉒照射頻度について

男女共に3週間毎の施術が可能です。

光は様々な成長過程の毛(毛周期)の中で成長期の毛にアプローチしており、

その成長期の毛の生え変わりの期間から、上記が安全で効率的に照射が行える頻度となります。

但し、男性ヒゲ脱毛場合、除毛・減耗開始時は2週間に1回照射をすることで、結果が分かりやすくなることもございます。

抜けてきたという実感があれば3週間に1回に戻して頂いて大丈夫です。

㉓子供の脱毛について

エステティック振興協議会では 7 歳以降が好ましいとされています。

ただし、若年層の為お肌状態や結果の出方でトラブルに繋がる事もある為、最終的には サロン判断にお任せしております。

そして、男性の変声期、女性の初潮の時期にホルモ ンのバランスが大きく変わる為、たとえ施術が終了していたとしても思春期にまた毛 が生える可能性も大いに考えられます。

※成長期のホルモンバランスの関係上思うような結果が出ない可能性もあり得る事、お子様の保湿、紫外線対策、自己処理等にご注 意頂くようにお伝え頂く事を推奨いたします。

②4 ジェルの塗布について

ジェルを塗布する事で、お肌を熱からの保護・保湿、施術の潤滑、施術効果の向上が大きな目的となります。

②5 多少の痛みがあってもレベルを上げて施術してもいいのか

多少の痛み＝チクツとする程度なら◎

我慢している痛み＝NG

我慢されている状態でレベルを上げてしまうと、光の特性状痛みが強くなってお肌が生体反応で萎縮してしまうと返って、光が透過しづらく結果が出づらくなってしまいます。

②6 レベルを上げる基準について

チクツとした体感が鈍くなれば上げて◎

お肌の赤みと違和感があるかなどお客様にご確認する。

鈍いようならLv1 あげる(※必ずLv1 ずつあげる)

個人差がある為、毛の状態を見て判断。

細くなっていたり、減っていたりと目で分かる変化のある場合、徐々に上げる。

②7 VIO 脱毛卒業のタイミングについて

お客様が目指しているゴールにより卒業のタイミングは異なります。理論は10回以上。

毛質によっては10～20回ほど重ねる方も見えます。

②8 産毛の定義について

芯がない毛のイメージ。

剃った時に毛穴がわかりにくい、『ふわっ』とした柔らかい毛。

(箇所でいうと→顔・バスト・背中、1番わかりやすいのは顔)

②9 光に反応した毛について

成長期には反応する為、一度反応したら抜け落ちる。照射後2週間くらいで少しずつ抜け落ちていく。

(当店は永久脱毛ではない為、あくまで毛の働き(成長)を弱める脱毛方法になります。)

③0 背中での施術について

精製水で吹き上げをし、剃毛を必ず行う。

15回～20回を目安に、効果の見られない箇所のみCモードに移行する。

施術後効果が感じられにくい時について

・肌は乾燥していませんか？

水分量が不足しているとしっかりと結果が出ず、肌トラブルの原因になります。
通常の肌に戻してから照射をしましょう。

・皮脂分泌過多ではありませんか？

油分が多いと光が透過しにくく結果が出にくくなります。
水溶性のクレンジングをされてから照射をしてください。

・角質肥厚ではありませんか？

角質肥厚だと光が透過しにくく結果が出にくくなります。
スクラブ等ホームケアをされ通常のお肌になってから照射をしてください。

・適切な剃毛はされていますか？

毛量が多い箇所では剃毛が十分でないと照射面の密着等不十分で、
肌トラブルに結び付きます。必ず施術前日にお客様に剃毛をして頂き施術前に、
伸びているようであれば電動シェーバーで優しく剃って頂くようにしてから照射をして下さい。

・マーキングすべき箇所はしっかりとマーキングされていますか？

マーキングをされないとターゲット(毛/メラニン色素)にしっかりと光が吸収されず除毛・減耗効果が軽減し、
また肌トラブルに結び付く可能性がございます。
ほくろ・シミ・くすみ等照射が出来ない箇所はしっかりとマーキングをしてください。

・照射面はしっかりと密着されていますか？

照射面が浮いているとターゲット(毛/メラニン色素)にしっかりと光が吸収されず除毛・減耗効果が、
軽減し肌トラブルに結び付く可能性がございます。
照射の仕方に関しては動画を確認するようにして下さい。

・お薬の服用はございますか？

お薬の服用により、除毛・減耗効果が軽減する事がございます。
お薬を飲んでいる場合の照射は避けるようにして下さい

・照射頻度と照射回数は適切ですか？

照射頻度が3週間に1回の照射になります。
個人差もありますが4~5回は継続して照射を続けてみて下さい。